

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 令和8年度 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立三宝小学校
校長 江里口 幸子

中学校区におけるめざす子ども像

- 自分のよさを知り、人とつながり協働する子
- 将来にゆめや希望をもち、その実現に向けて粘り強く努力する子

令和8年度 重点目標

学校教育目標 「心豊かで、主体的に学び、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成」
 学校組織目標 「学校マネジメントで実現するすべての教職員と子どもが安心して学び、働き、成長できる学校」
 教育重点目標 1 総合的な学力の育成…「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 2 笑顔あふれる学びの場づくり 3 心身の健康と安全・安心な教育環境づくり

「確かな学び」の現状

- ICTを活用した授業の充実に取り組んだことで、PCを使つての学習に9割を超える子どもたちが肯定的回答をしている。今年度も、学校群でICTを使った深い学びを実現するために、授業の改善、情報活用能力の育成に取り組むことにより、子どもたちの確かな学びにつなげている。
- 学校マネジメントモデル学校群として選定され「授業の改善」「カリキュラムの改善」に取り組んだことを生かし、今年度も教科における専門性を生かした専科指導を軸に、小中学校で9年間を見通した連続性・系統性のあるカリキュラムの編成に取り組んでいる。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- 令和7年度学校教育アンケート「学校生活は楽しい」では、肯定的評価が約90%と、毎年高い水準を維持できている。「自分によいところはあると思う」は、肯定的評価が約80%であった。また、豊かな心の育成に関して、「道徳の授業は楽しい」の項目については、肯定的評価が81.4%となっており、互いの良さを認め合う教育活動を推進している。
- 「体育の授業は好きである」では、86.6%の児童が肯定的評価をしている。また、「みんなく」や「食育」の学習を通して、心身共に健康な児童の育成を行っているが、「午後10時までには布団に入るようにしている」では、肯定的評価が75.3%と低い数値となっている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (~12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	ICTを活用した授業改善を行うことで、総合的な学力と児童の自尊感情の向上を図る。	●一人一台のパソコンを活用し「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現する授業を工夫し、児童全員が参加できる授業を行う。	「授業では、よくパソコンを使っている。」【肯定的評価90%以上】	学校教育アンケート(以下【学ア】)	2学期末			
			思考の跡が見えるノートづくり(めあて、見通し、自力解決、意見交流、振り返り等)に取り組む。	「授業では、タブレットやノートに自分の考えを書くことができている。」【肯定的評価88%以上】	【学ア】	2学期末			
			年間指導計画に基づいた「考え議論する」道徳授業を実施し、「道徳授業は大切である」と思う児童を育てる。	「自分の考えを伝えたり人の意見を聞いたりする道徳授業は大切だと思う。」【肯定的評価83%以上】	【学ア】	2学期末			
豊かな心の育成	豊かな人権感覚の育成と特別支援教育の充実を図る。	★「出会い・居場所・出番」のある授業で自分の良さを知り自尊感情を醸成する。	「思いやりをもって、友だちと接している。」【肯定的評価80%以上】	【学ア】	2学期末				
		特別支援教育の充実を図り助け合い学び合う学習集団を育て、道徳の指導とも関連づけて相手の気持ちがわかる児童を育てる。	「友だちが困っている時には、自分から進んで助けようと思う。」【肯定的評価93%以上】	【学ア】	2学期末				
	穏やかな心・健やかな体	規範作りの醸成と静謐な教育環境づくりを推進する。	いじめ防止基本方針に基づく対応をするとともに他機関とも連携し、生徒指導を行うことで「学校が楽しい」児童を育成する。 ●校長のリーダーシップのもと、あいさつ運動を組織的に活性化し、自ら進んであいさつのできる児童を育てる。	「いじめはどのような理由があっても許されないと思う。」【肯定的評価92%以上】 「自ら進んであいさつができる」【肯定的評価82%以上】	【学ア】	2学期末			
健やかな体	心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。	「かけ足」を実施し、体力の向上を図る。外遊びの推進・体育授業の充実を図る。	「体を動かして運動することが好きである。」【肯定的評価87%以上】	【学ア】	2学期末				
		●「食育」「みんなく」など健康に関する啓発を行い、健康な生活を過ごそうとする児童と家庭を育成する。	「健康のために睡眠や食事に気をつけている」【肯定的評価88%以上】	【学ア】	2学期末				
学校独自の取組	防災教育	地震・津波・高潮を中心に防災・減災に関する基本的事柄を身に付けさせる。	自分自身の身を守るために必要な基本的事柄を朝礼の指導や避難訓練、防災教育等で身につけさせる。	「地震のときや津波が来たときの避難のしかたはわかっている。」【肯定的評価95%以上】	【学ア】	2学期末			
	読書啓蒙	自ら進んで読書したり調べ学習をしたりするような本に親しむ児童を育成する。	新たな図書の購入等、読書環境の充実と週1回の朝読書や定期的な図書館活用を通して「読書が好き」な児童を育成する。	「読書が好きだ」【肯定的評価73%以上】	【学ア】	2学期末			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)